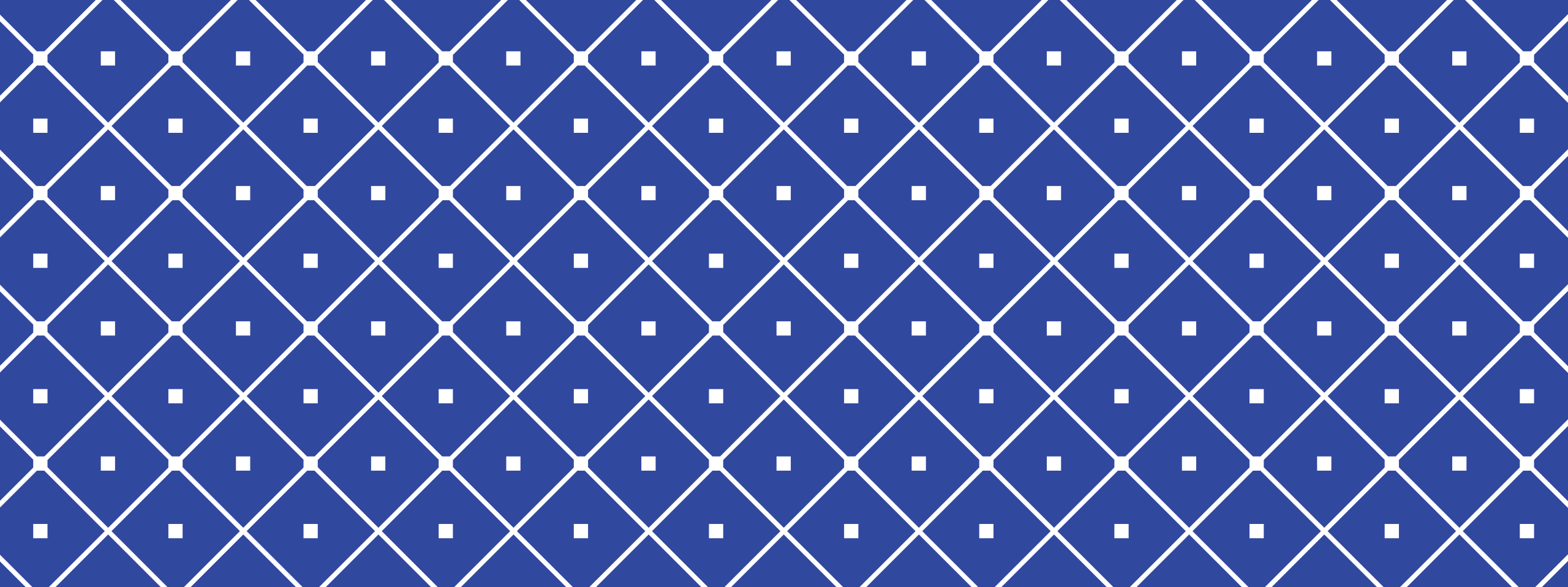




第30回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所るぴなす

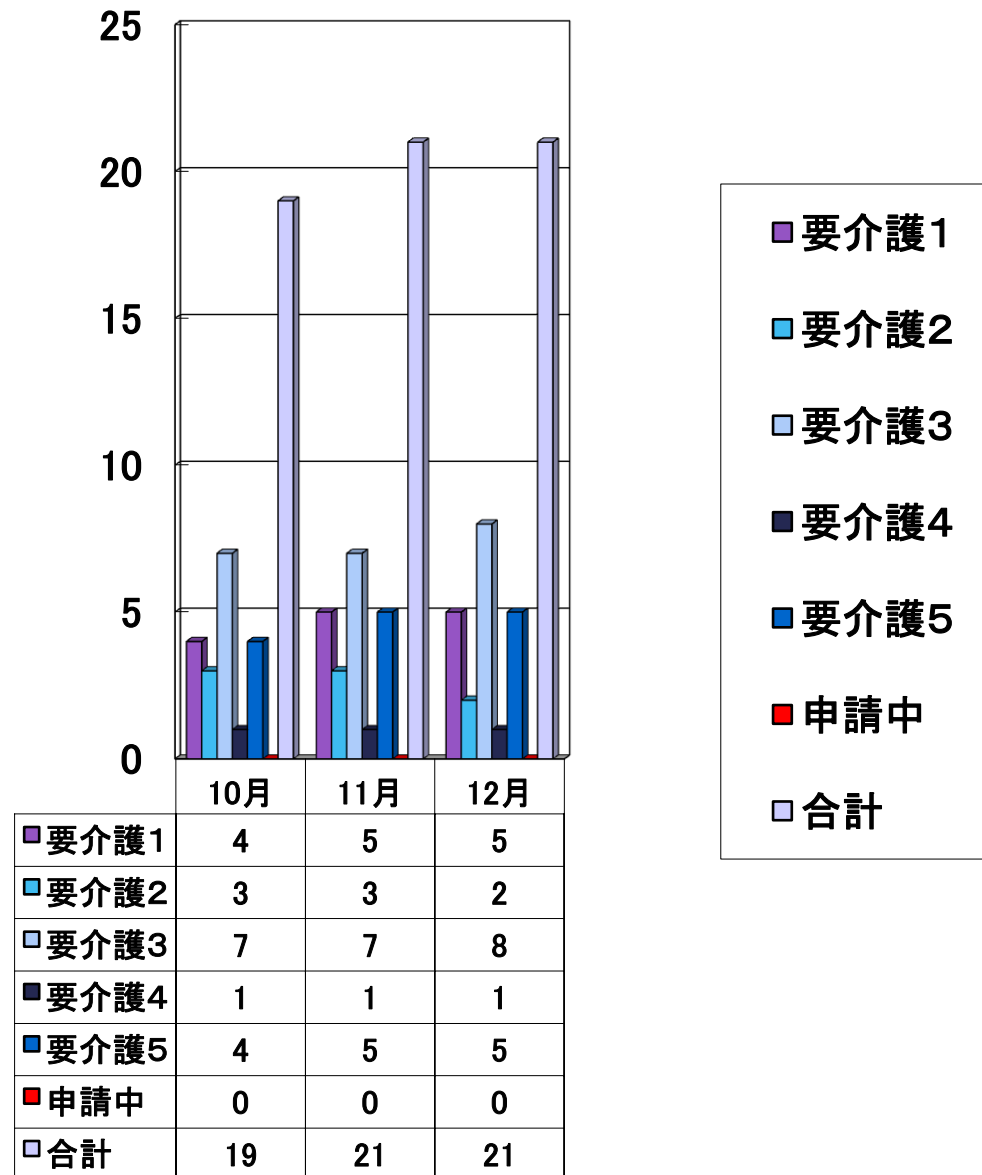
平成29年12月10日

第30回運営推進会議

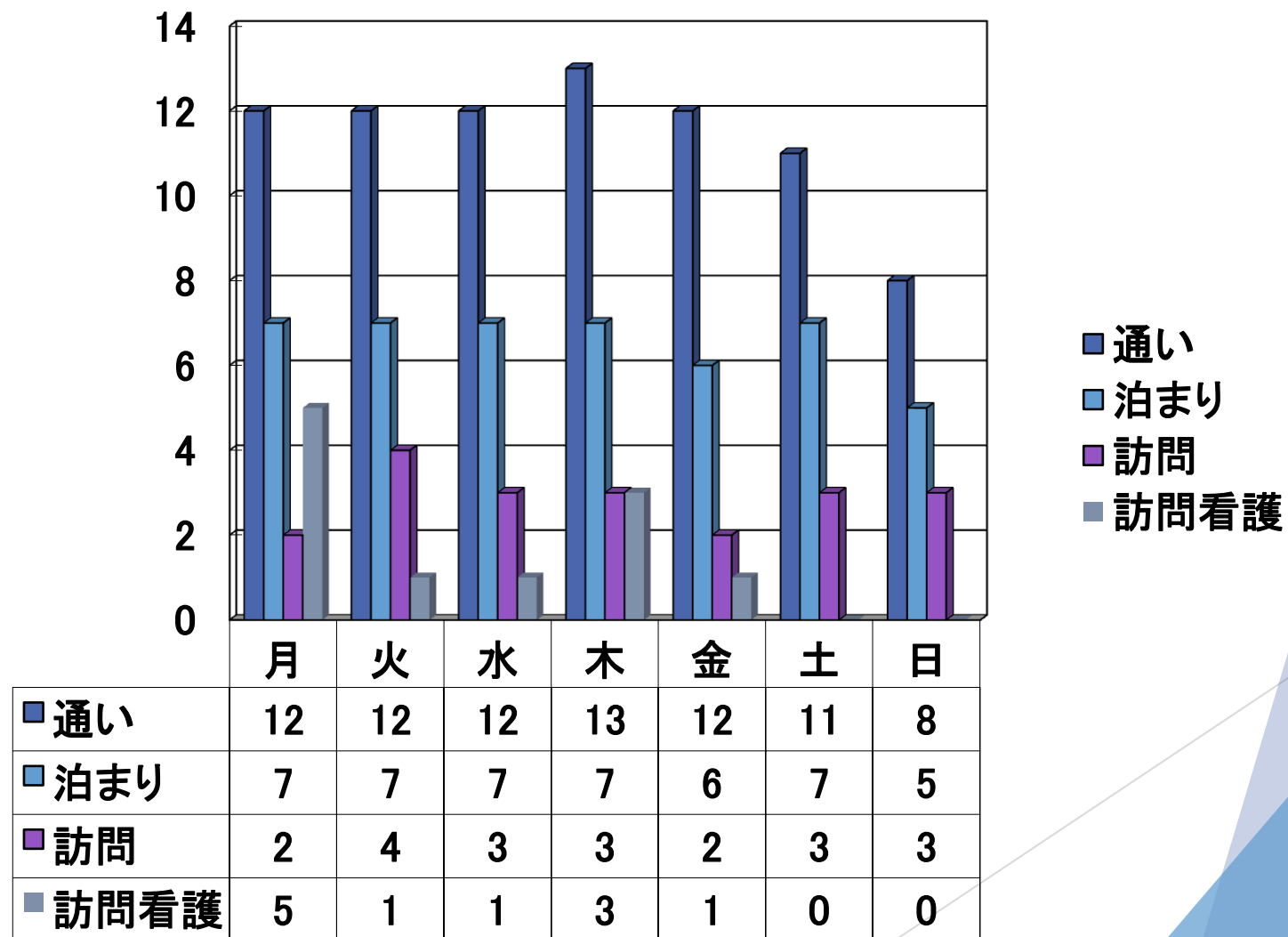
- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者の紹介
- 活動報告
- その他質疑応答・要望等

登録利用者数

平成29年10月～平成29年12月



平成29年12月 曜日別利用者数



新規ご利用者

- O・M様 女性 90歳 要介護1 長女様と二人暮らし
H25年よりるぴなすのデイサービスを週2回利用、長女様の体調悪化によりショートステイも利用していた。
11/1介護認定更新により要支援2から要介護1となり、るぴなすで通いも泊りも利用できるように看護小規模多機能へ移行される。通い週2回と泊り週1～2回利用。
- I・M様 女性 84歳 要介護5 一人暮らし
上行結腸癌末期、肝・肺転移あり、緩和ケアとなる。元々みていた近所に住む長女様と東京から次女様・三女様が泊まり込み、介護される。11/6退院し、11/7利用開始。
週5日訪問、週2回の訪問看護、通い、泊まりを組み合わせ、自宅と行き来しながら療養する。

夜間想定避難訓練

<日時>

平成29年11月8日（水） 14：00～15：00

<想定>

洗濯室より火災発生。

ご利用者7名 夜勤職員、1名 連絡を受けた宿直1名が5分後に助けに入る。

<実施方法>

火災受信機で出火場所を確認、消火器で初期消火をおこない、火災通報装置を使用し通報。その後、ご利用者を玄関まで誘導。

夜勤職員役を交代し4名が実施する。

サービス評価

看護小規模多機能型居宅介護事業所は、運営推進会議をおおむね2月に1回以上開催することと規定されているがサービスの改善および質の向上を目的として、自ら提供するサービスについて評価・点検（自己評価）を行うとともに、自己評価結果について、運営推進会議等において第三者の観点からサービスの評価（外部評価）を1年に1回以上行う。

サービスの質の評価の客観性を高め、サービスに質の改善を図ることを目的とし、結果の公表を行うことが義務付けられており、利用者に対するサービスの提供にあたり、職員に対し、十分意識付けを図ることが求められている。

サービス評価

スタッフ個別評価



事業所自己評価



外部評価



評価の公表

●これまでの取り組みやかかわりを自らに向き 合い、振り返ります。個人作業(11月中旬まで)

●各自が取り組んだ「スタッフ個別評価」を持ち寄り、全体で話し合い、それぞれの考えや実践、項目に関する捉え方の違いなどを話し合い、その中から改善の方策を考えます。事業所のコミュニケーションの場ともなります。(12月上旬～下旬)

●運営推進会議で話し合います。(2月～3月)
「できている」「できていない」という結果のみで判断するだけでなく、事業所が真摯に自らの取り組みを振り返り、質の向上を図っているか確認します。地域が日頃感じていることと事業者自身が考えることとの違いについて話しあい、事業所の課題や今後の方向を見出します。(3月)

サービス評価のポイント

- ◆スタッフ全員が自らを振り返り、自己評価を行うこと(スタッフ個別評価)
- ◆スタッフ個別評価とともに、事業所全体で振り返り、話し合い、共有すること(事業所自己評価)
- ◆運営推進会議で、事業所自己評価の結果を報告し、かつ、地域からの意見を頂き、運営に反映させること
- ◆自己評価及び運営推進会議による評価を毎年繰り返しながら、質の向上を図っていくこと
 - ⇒ 評価をスタッフ全員で行い話し合うことでチーム作りになり、提供しているサービスの確認になる
 - ⇒ 地域の方々より事業所に対する理解が促進される
 - ⇒ 外部評価を行う運営推進会議に行政や地域包括支援センターが参加することで、理解が促進される



5月15日



5月15日



7月11日

ありがとうございました(*^_^*)



7月18日

第30回運営推進会議 議事録

看護小規模多機能居宅介護事業所るぴなす

開催日時：平成29年12月10日(日) 11:00～12:00

出席者：自治会長・目黒様，地域包括センター姥ヶ山・小石様

ご利用者ご家族・高橋様2名，本間様，和田様，早川様，白井様，富岡様，田野様

法人代表・斎藤先生，法人総務・物江，管理者・小林

年に一回、日曜日を利用し、普段お出で頂けない方もお出で頂きやすくしています。会議の後には家族交流会としまして普段過ごしている様子を見て頂き、昼食を召し上がって頂き、職員も多く出ているので顔合わせの機会にしたいと思います。

斎藤先生より

今日はお休みのところお集まりいただきましてありがとうございます。2ヶ月に1回の運営推進会議で地域の問題や良い話など話題を共有していこう、情報や相談を個人情報になりますので名前は出せませんがこの場を使って行っていきましょう。

今日はこの後家族交流会があり、サービス評価も始まり、小規模多機能は、通い・泊り・訪問があり通常は別々の契約だが、全てなじみの顔(スタッフ)なので安心できる。一人暮らしでも認知症でも病気になって見守っていく、国でも広げるよう進めており、普及セミナーを県7圏域で行っています。

1 出席者紹介

この会議はご家族、地域の方、行政委託の包括支援センターの方に出席して頂き成り立っています。

- ・高志2丁目自治会長、目黒さん
- ・地域包括支援センター姥ヶ山、小石さん

3、看護小規模多機能ご利用者現況報告

・登録利用者数

10月19名、11月に2名利用開始され21名、12月に1名利用終了、1名利用開始し21名

・曜日別利用者数

通い定員15名のうち11～13名、日曜は8名と少ない。その週により人数は変わり満員になる日もたまにある。泊りは5～7名、急な対応もできるようにできるだけ1名は空けておくようにしている。入院されている方が1名で来週退院の予定なのでその分変動あると思います。
訪問回数は延べ回数でなく人数。一人の方に一日2～3回訪問する場合もある。

4、新規ご利用者紹介

5、活動報告

○行事，日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告する。

- ・ぶどう狩り・・・ぶどうがいっぱいになって良かった（上田様ご家族）梨やいちじくもあり買い物されていた 4日間に分けて
- ・干し柿作り・・・上手に皮むき、ひも付け、干す、出来具合を見る、役割分担し、良くできた。すぐに食べてなくなる。
- ・春に向けて・・・チューリップの球根植え 食育花育センターへ出掛ける
- ・おやつ作り・・・食の委員会が企画 自分で好きなように盛り付けて食べました
- ・くるみクッキー作り・・・くるみ拾い。果肉を取って、炒って、殻を割って、クッキー生地に入れて焼いて食べました。

○夜間想定避難訓練

11/8(水)14～15時、ご利用者7名、夜勤者1名の想定で、4回行う。

職員1名で火元確認、初期消火、消防への通報、避難経路確保しながら避難誘導は、大変だが、訓練を続け身に付けないといけないと思った。今回は、職員のみで行いましたが、今後夜間を想定した避難訓練でも自治会から協力が得られるかお声掛けさせて頂きたいと思っています。

自治会長：連絡下さればかけつけます。火災はいつあるかわからない、一名では大変でしょう。まずは消防へ来てもらう事が大事。火災の原因の1位は放火。あとストーブの上の干し物も多い。

○お誕生日

10月3名、11月0名、12月1名をお祝いしました

○ボーリング

・共通して皆でできるゲーム。家族交流会でも行います。

6、サービス評価

目的、流れの説明、ご意見のお願い

スタッフ個別評価実施し、話し合いの場を持ち意見交換、半分終わった所

これらをまとめて事業所評価として提示、配布させて頂きますので、毎回ご面倒なお願いになりますが、ご意見を頂戴したいと思しますのでご協力をお願い致します

できている、できていないの評価だけでなく振り返りの場をもつコミュニケーションツールとして考える
聞かれても不明な部分もあると思いますので思う部分だけで良いです。運営推進会議では44項目すべてを話し合う必要はないと見解が出ましたので、報告のみとする項目もありますが**振り返りの機会とさせていただきます。**

早川様:自治会長が消防訓練に参加されており、ありがたいと思っています。

斎藤先生:夜勤者1名で大変だと思うが、介護報酬がそこまでなく、上げれば皆さんの負担が大きくなる。なんとか自治会の方に協力いただきたいと思います。

物江:スプリンクラーが義務化されついています。最初は経過措置の時もあったが義務化となり後でつけました。今は開業の時ににつけないといけない事になっています。

目黒様:古い建物にスプリンクラーがなく、入っている人がわからない、密集地帯で、他水位犠牲者が出た火災があった。最近の火災は高齢者が亡くなる事が多い。姥ヶ山の方でも火事が多い。

山コミ安全部で年1回防災施設の視察があり、先日バスで東京消防庁へ36名で行って来ました。消防訓練、暴風、地震、大震災時の揺れの体験、その際とる行動、大雨の時クス間のドアは水圧で開かなくなるので窓を割る道具が必要など、勉強になりました、参考まで。

Jアラートも鳴るし、北朝鮮から船も来ていて大変、何があるかわからない。

小石様：消防から言われているが、古い家だと火災報知器がついていない。消防からつけに来てくれるので、相談下さいとのこと。

目黒様：火災報知器はつけても電池切れにも注意しないとイケない。たまに線を引いてテストしないとイケない。

和田様：火災の原因は放火が一番とのこと、放置してある物がないようにしてもらいたい。

物江：ひのきのお風呂が古くなり入れ替え工事しており、土曜日はお風呂がお休みになり皆様にはご迷惑をお掛けしております。月曜からは使用できますので、ひのきの良い香りを楽しめると思います。

斎藤先生：家の事、地域の事、色んな課題を行って頂き、まるごと相談できる所となり、皆で集まって解決したりやって下さる所につないでいきます。まるごと相談所を4月から地域で住民が作っていく義務が出てきます。地域共生社会は全ての人が暮らしていける、地域を大事にした優しい時代が来ると思っています。